

市民活動 始めたいと思ったら サポートセンターへ!



サポートセンターでは、すでに活動している団体だけでなく、どこかの会に参加してボランティア活動してみたいという方や、これからグループを立ち上げたいと思っている方のお手伝いもしています。

センターのスタッフが丁寧にお応えしますので、何か始めたいと思ったら、お気軽に窓口へおいでください。

市民活動サポートセンターいなぎ（以下、サポートセンター）では、市内で社会貢献活動を行う団体（グループ）や個人の活動をより活性化し、相互に交流できるようにするため、相談を受けたりミーティングコーナーや印刷機の利用など、様々な支援サービスを行っています。

それらのサービスを受けるためには、「利用登録団体」（以下、登録団体）としてサポートセンターに登録しておく必要がありますが、手続きは簡単です。

今号では、サポートセンターでどんな支援を受けられるのか、Q&A 形式でご紹介します。

Q 最近仕事を退職したので、どこかの団体がグループに入ってボランティア活動してみたいのですが、市内でどんな団体が、どんな活動をしているのかわかりません。また、入会する方法もわかりません。

A サポートセンターには、現在 90 を超える市民活動団体（社会貢献活動団体）が登録されています。その登録票を見ると、各団体の活動内容などがわかりますので、ぜひご相談ください。団体への参加の橋渡しをすることもできます。

Q 仲間と市民活動グループを作りたいと思っているのですが、どうすればいいのかわかりません。

A サポートセンターでは、そうした場合の相談に常時対応していますので、まず窓口でご相談ください。また、グループが発足する前であっても、条件さえ整えば「〇〇準備会」のような形でサポートセンターへの登録も可能です。登録することで、サポートセンターの各種支援サービスを受けることができます。

Q 急に打合せの場所が必要な時に、予約なしでも使える場所がなくて困っています。

A サポートセンターのミーティングコーナーは、登録団体であれば、空いている時は予約なしでも使え、事前に予約することもできます。



ミーティングコーナーは 15 人程度までの打ち合わせや作業に利用できます

Q 活動をもっと活発にしたいのですが、会を立ち上げて間もないので、活動資金に困っています。

A サポートセンターでは市民活動支援基金という名称で、団体に資金の助成をしています。1回5万円が限度額で、1団体2回までです。

今年度の助成はすでに終了しています(4ページ参照)ので、申請は来年度以降になります。応募できるのは登録団体のみで、登録団体にはその都度案内通知を差し上げています。

また、サポートセンターには、企業や広域団体等からの基金募集案内情報がたくさん寄せられていますので、お問い合わせください。

Q 団体の活動をもっとよく知ってもらうために、会報を作ったり、講座やイベントへの参加者を募るために、チラシを作りたいのですが、印刷機を使用することはできるのでしょうか？

A 登録団体であれば、サポートセンターの印刷機を利用することができます(有料)。ただし、用紙はそれぞれの団体で用意していただきます。利用には事前予約が必要ですが、空いていれば予約なしでも使える場合があります。

Q 市民活動、特に自分が興味をもっている分野についてもっと知りたくて、参考になる本を探しているのですが…

A サポートセンターでは、ライブラリーに所蔵している市民活動に関する本の貸出し(2週間まで)を行っています。講座でお呼びした講師の本は、必ず購入するようにしていますが、他にも要望に応じて購入し、年々蔵書を充実させています。

もし購入してほしい本がありましたら、その旨をお知らせください。内部で検討し、予算に余裕があれば購入したいと思います。



ライブラリーには約 360 冊の蔵書があります

サポートセンターいなぎの事務局

サポートセンターの事務局は、中間支援組織の業務だけでなく、会議室など地域振興プラザの施設管理や姉妹都市交流、国際交流、iまつりなどの業務も行っていきます。



昨年度末で平成 25 年 4 月から勤務をしていた吉井四郎さん(写真 前列中央)が退職し、新年度から八東弘敏さん(右から 2 人目)が着任しました。今後も中間支援組織の事務局として、役割を果たしてまいります。

Q 自分たちの団体を NPO 法人にしたいと考えているのですが、そういう相談にのってもらえるのでしょうか？

A サポートセンターでは、NPO 法人の設立と申請事務の相談も行っています。お気軽にご相談ください。また、必要に応じて、経験豊かなサポートセンターの理事などを、講師として派遣することも行っています。

Q 長い間活動を行っているのですが、なかなか仲間が増えなくて困っています。どうしたら増やせるでしょうか。

A サポートセンターでは、毎年NPO入門講座を開催しており、昨年度は「仲間づくりのためのステップとコツ」というテーマで行ったところ、とても好評でした。(囲み記事参照)

今年度も同様の内容で開催したいと思っていますので、ぜひみなさんの声をお寄せください。

Q 会のステップアップのために講座を開催したいのですが、講師料を捻出できなくて困っています。

また、良い内容なのでたくさんの方に聞いてほしいと思っているのですが…。

A サポートセンターでは、市民活動支援講座という名称で、講師を派遣(予算の範囲で講師料を負担)する事業を行っています。

対象は登録団体のみで、講座が市民のどなたでも参加できることや、できるだけいくつかの団体と共同で開催することなどが条件です。

講座を企画している団体からの提案を受け、サポートセンターの理事会で内容を検討して、派遣を決めています。

未来の仲間に出会うために

町田市で、「子どもの居場所づくり」や「場づくり支援」等の活動を行っているNPO法人れんげ舎おきだてるちかの長田英史氏をお招きし、「仲間づくりのためのステップとコツ」という講座を開催しました。

講座は、「“メンバーになりませんか?”と、いきなりグループに勧誘して

いませんか?”という問いかけから始まり、ステップを踏んで仲間づくりをしていくこと、そもそも自分たちが求めている仲間は「時々協力して



くれる人」なのか、「会を動かしていく中心メンバー」なのか…。仲間づくりに必要な考え方やステップについて、例を交えながら、分かりやすくお話いただきました。

2017年度の年間事業計画

	月											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
I. 市民活動相互交流事業												
市民活動フォーラム2017											○	
市民活動団体との協働事業		●										
金曜サロンスペシャル	●		●	○		○	○	○	○	◎	○	○
II. 市民活動に関する情報収集及び提供事業												
ニュースレターの発行			●				○					○
ホームページ・ブログ												
III. 市民活動支援及び相談事業												
NPO講座												
市民活動支援講座												
市民活動支援基金			●									
講師派遣・相談事業												
IV. 市民活動の調査研究とこれに基づく政策提言事業												
ちゃぶ台キャラバン事業							○					
V. 市民活動団体や行政及び企業との協働事業												
手づくり市民まつりへの参加			●									
Iのまちなぎ市民祭への参加									○			
行政との協働企画講座												○
VI. センターの設備及び機器の利用提供事業												
ミーティングコーナー												
印刷機等の利用												
図書の間覧及び貸出し等												

●は、すでに終わっている事業です。

○は「新年の夢を語り合う会」で、利用登録団体懇談会を兼ねて開催します。



サポートセンターへのアクセスマップ

市民活動支援基金による 今年度の助成団体

この助成金の原資は、基金の趣旨に賛同する個人の寄付や団体からの資金提供（冠助成）で賄っており、サポートセンターはその審査事務を担っています。応募できる団体は、サポートセンターに利用登録している団体です。

今年度は、次の3団体に助成することが決まりました。

障がい児 & でこぼこ発達児 親の会「芽ぐむの会」 (代表 長坂直子さん)

助成の種類：スタート助成

助成額：50,000円

資金提供元：NPO《こどもの森》芸術文化振興基金

活動内容：未就学児や小学校低学年のお子さんをもつ家族を対象に、4回の講座を開催し、その講師料に充てる。

東京稲城里山義塾 (代表 宇津木敏さん)

助成の種類：スタート助成

助成額：50,000円

資金提供元：サポートセンター市民活動基金

活動内容：21世紀型の活用できる里山雑木林づくりを目指して立ち上げた会で、現在NPO法人取得に向け申請中。その活動費に充てる。

手づくり絵本クラブ友友^{ゆうゆう} (代表 大西邦子さん)

助成の種類：スタート助成

助成額：50,000円

資金提供元：NPO《こどもの森》芸術文化振興基金

活動内容：稲城の昔ばなしをもとに稲城の市史などを学び、それを題材に絵本を製作、小学校や図書館等に無料配布する。その絵本製作費に充てる。

◎ NPO《こどもの森》芸術文化振興基金とは

地域の活性化と教育力の充実をめざし、子どもたちの芸術文化活動及び健やかな育ちの環境づくりに寄与することを目的に設けられた基金

◎ サポートセンター市民活動支援基金とは

賛同する個人からの寄付をサポートセンターがプールしておき、市民活動活性化のために役立てる基金

元気に咲きますように



稲城市の姉妹都市である大空町から「ひまわり」の種が届けられ、南山小学校の子どもたちと保護者や地域の方々が、5月30日に種まきを行いました。土に触れるのに慣れていない子も、そうでない子も、それぞれ一粒一粒、丁寧にまいていきました。夏休みに満開になるのが待ち遠しいですね。



おじゃまします

登録団体

いなぎエコ・ミュージゼ

いなぎエコ・ミュージゼは、私たちの住む稲城のまちを「まるごとミュージアム」ととらえ、地域の自然や歴史・文化等を知るためのイベントの開催や、他団体の各種イベントへの参加を通して、地域活性化に取り組んでいます。

「いなぎエコ・ミュージゼ」の「エコ」はエコロジー（生態系、環境）のことで、「自然、社会、文化など地域環境全般」を意味し、「ミュージゼ」は「ミュージアム」、すなわち「博物館や美術館」を表しています。

「いなぎのまちを、より良く、元気にする」ことを目的に、発足当初から市の職員と市民が協働して、まちづくりについて研究しながら活動しており、現在約20名の会員さんたちは、「私たち一人ひとりが文化遺産？」などと、ある意味とんでもないことも考えているとか。

主な活動としては、「大丸用水路のガイドウォーク」や「ニュータウン地区のパブリックアート巡り」があ



り、多くの小・中学生やその家族、一般市民の参加のもと、地図を片手のウォーキングを行ったり、「水辺満喫コース」「里山体感コース」「歴史体感コース」「稲城の穴場スポット発見コース」「農産物直売所巡り」等々、盛り沢山の企画を行っています。

●連絡先：いなぎエコ・ミュージゼ（おがわ）

tel 090-9003-3821

email sunjo3203@gmail.com

